

学園だより

Vol.182
2014. 4. 7発行

CONTENTS

- | | | | |
|-------|------------------------|-------|---------------------|
| 02 | 入学おめでとう | 11 | 学生会役員紹介と一言メッセージ |
| 03-04 | 新入生を迎えて | 12 | クラブ部長からの一言メッセージ |
| 05-06 | 学生相談室長・新入生学級担任からのメッセージ | 13 | 平成26年度第1学年入学者選抜実施報告 |
| 07 | 施設紹介・学生のための窓口 | 14-15 | 専攻科だより |
| 08-09 | 平成26年度行事予定 | 15-16 | トピックス |
| 10 | 学生会長・寮長からのメッセージ | | |

★高志台 (こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“このくに”(越の国・古志の国・高志の国)と呼ばれていました。学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台(こうしだい)」と命名しました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校
Nagaoka National College of Technology

入学おめでとう

校長 渡邊 和忠



新入生の皆さん、入学おめでとう。長岡工業高等専門学校の教職員および在校生を代表して皆さんを心から歓迎します。保護者並びにご関係の方々と共に皆さんの入学をお祝いできることを大変、嬉しく思っています。

今年度、1年生として209名を、3年、4年への編入生として8名を、本校にお迎えしました。また、専攻科には37名が進学し、総勢254名が新たに本校の一員として共に学ぶことになりました。

皆さんは、長岡高専はどのようなところと思って入学したのでしょうか。長岡高専は「人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者」を育成することを目指しています。すなわち「ものづくり」で世の中を変える能力をもつエキスパートを育てる高等教育機関(高専)です。高専では、早くから専門の教育を行なっていますが、このことには大きな意味があります。どのような分野でも一流と言われる人たちのほとんどが子供の頃から学び始めています。ピアノでも、バレーでも、体操でも、子供の頃から始めた方が圧倒的に早く上達し修得できるからです。「ものづくり」でも同様のことが言えます。将来、一流の技術者として活躍するためには、若い頃から「ものづくり」についての専門知識や技術を修得し、考え方を徹底的に身につけることが極めて大切です。

「ものづくり」という言葉には、多くの意味が含まれています。熟練の技で素晴らしい製品や伝統工芸品を作るのも「ものづくり」です。ロボットや車、機械、装置、あるいは橋やトンネルを造るのも「ものづくり」です。また、最新の知識や技術を用いて新しい材料を開発したり、あるいは新たな機能をもつ生物や細胞などを創り出すことも「ものづくり」です。更には、コンピュータの新しいプログラムやスマートフォンのアプリのように形がないものを創り出すことも「ものづくり」と言って良いと思います。高専では科学や技術の基礎を熟知し、最新の知識や技術を駆使して新しいものを創り出す、そのような「ものづくり」分野において活躍できるエキスパートを育てています。エキスパートになるためには、皆さんは基礎から専門まで知識と技術をしっかりと身につけ、自由自在に使いこなすことができる必要があります。まず低学年では基礎的な知識や技術を学ぶことから始めます。1年生の頃は、専門の科目や実習は少なく高等学校の授業とあまり変わりませんが、低学年の時に基礎的な知識や技術をしっかりと学んでおかなければ、高学年に

なった時に専門のことが理解できなくなってしまうです。新入生の皆さんが中学校等で学んだ基礎的な知識だけでは足りないのです。高学年になるに従って専門科目や実習・演習が増えてきます。そして5年生になると研究室に入り、指導教員の下で最先端の「ものづくり」に参加します。更に専攻科では、自ら最先端の「ものづくり」の研究を行い、多くの学生が学会で成果を発表します。このように最初は基礎的な知識や技術を学ぶことから始め、少しずつ専門科目や実習を増やして行く方法は「くさび型教育」と言われ、高専教育の特長です。4年生や専攻科の1年生では企業実習もあり、企業でどのような「ものづくり」をしているか、実際に体験することができます。希望者は海外研修に参加し国際体験をすることも出来ます。また、社会で必要とされるマナーや人間力も高専で身につけます。しかし、これだけでは「ものづくり」のエキスパートにはなれません。良い指導者が必要です。高専の教員は、80%が博士を取得しており、学会等で活躍している第一線の研究者です。研究者が「ものづくり」に関する基礎から専門まで丁寧に指導しています。このように高専では、皆さんが勉学に励み、また様々な活動に加わることによって「ものづくり」のエキスパートになれるような仕組みが出来上がっています。もう一つ、大切なことがあります。それは皆さん自身です。「ものづくり」のエキスパートになるためには、高い志と、自ら新しいものを考えて創り出すことのできる能力が必要です。長岡高専では、教員が皆さんを一方向的に教育することはしません。入学してきた皆さんには、自ら考え行動することが求められます。人から言われたことをやっているだけでは、エキスパートにはなれません。高い志をもち、自ら考え行動することによってのみ「ものづくり」のエキスパートとして活躍することが出来るのです。

皆さんは、今日から長岡高専の学生として新しい出発点に立っています。皆さんが入学した長岡高専は日本で最初に出来た最も伝統のある高専です。皆さんの先輩は、本校のキャンパスが位置するこの地を「高い志を育む丘」という意味を込めて「高志台」と名付け、日々の研鑽に励んできました。そして、ここ「高志台」で友人と切磋琢磨し、自らを高めたことに自信と誇りを持ち、社会で活躍し、高い評価を得てきました。新入生の皆さんは、先輩の想いを受継ぎ、これから過ごす長岡高専での数年間、「ものづくり」のエキスパートを目指して、日々、研鑽を積み、精進して下さい。私たち教職員、関係する全ての人たちが皆さんを支えて行きます。

結びにあたり、新入生の皆さんのこれからの学生生活が、本当に充実したものとなりますよう心から祈念致します。

新入生を迎えて

自分の頭で考える

副校長(総務主事) 荒木 信夫



新入生、編入生の皆さん、保護者の皆様、入学おめでとうございます。まさにこれから始まろうとしている高専生活に期待と不安が渦巻いているはずですが、早く自分のペースを作ってください。

私がこれまでに高専の学生達と接してきて感じることがあります。それは、高専の5年間でグングンと実力をつけ上位の成績を維持する学生と、なかなか成績を残せずにかろうじて卒業に漕ぎつけるだけの学生がいることです。この違いは何でしょうか。単に「やる気」だけで片付けていいのでしょうか。

アメリカの大学の授業では学生から沢山の質問がでます。授業の半分以上の時間が質疑応答に使われることさえあります。しかし、日本の学生から授業時間中に質問ができることはほとんどありません。これは長岡高専の学生だけでなく、東大や京大の学生でさえもそうです。この原因は何でしょうか。単に「文化の違い」だけで片付けていいのでしょうか。

日本の教育は覚えることに特化しすぎて、自分で考える力を十分に育てていないとされています。暗記するだ

けなら質問はできません。日本人学生は授業時間中の質問だけでなく、お互いの意見を交える討論も苦手です。これはコミュニケーション能力よりも自分の頭で考える力が育ってないので薄っぺらな考えしか持てないからだと言われています。だから自信がなくて意見を表明できない。これでは世界中の人達と仕事をするグローバル社会では活躍できません。

私は、高専でグングンと実力をつける学生と辛うじて卒業する学生の違いは、学校で教えられていなくてもなぜか「自分の頭で考える力」を身に付けている学生とそうでない学生の違いだと考えています。自分で考える力は教科書に書かれていることを理解したり、物事を覚えたりするだけでは育ちません。自らが、これはなぜなんだろう、どうしてなんだろうという気持ちを常に持ち続けることが重要です。自分の頭でしっかりと物事を考えると、理解できたかできなかったかが分かります。自分の意見が定まります。そうすると自分自身に自信がつかます。授業時間中の質問や討論における意見表明は、その結果にしかすぎないのです。高専生活では「自分の頭で考える」を癖にして過ごしてみてください。

高専卒業後を見据えた日々の学習を!

副校長(教務主事) 山崎 誠



新入生、保護者の皆様、入学おめでとうございます。

新入生の皆さん、入学早々ですが、「あなたは長岡高専卒業後、どのような進路を考えていますか?」。「卒業後の夢は何ですか」と言い直して良いかもしれません。「入学したばかりなのに」と思う人もいるかもしれませんが、今後の学校生活で大切なことです。初心を大切に、目標に向かって日々の学習に取り組んで下さい。

高専は高校と違い、大学と同じ高等教育機関で、専門的な内容を早い時期から学びます。中学校での授業と違い、長い授業時間や実験実習、これまでとは違った授業の進め方に戸惑うこともあるかもしれません。高専では自ら考え、学ぶ姿勢も強く求められます。学ぶ力を身につけることが重要です。

工学系の勉強は、学習の積み上げが基本です。高学年の授業は低学年で学んだことを土台にしています。低学年で学ぶ基礎科目の学習が大切です。また、基礎力を着実に身につけ、応用力を獲得するには、繰り返し学習し、理解を深めることが大切です。また、工学以外の学習も、技術者としての人間力をつくるのに必要です。更に、現代の

技術者は海外での活躍も求められています。国際性を身につけることも重要です。幸い、本校には多くの留学生が学んでおり、学生海外派遣研修の機会もあります。是非、在学中に挑戦して下さい。学習の成果を発揮するコンテストである全国の高専生が参加するロボコン・プロコン・デザコン等には是非挑戦して下さい。

豊かな人間性を育む上で、今年新しい取組がはじまります。第1学年で実施する混合学級です。皆さんは、その第一期生になります。混合学級は、学科の枠を取り払ってクラス編成を行い、学生間の交流を広げることを目的にしています。高専の教育は高く評価されていますが、入学から卒業まで学科別の同じクラスで生活するため、人間の幅が狭い等の指摘があります。混合学級はこの課題を克服する一つの方法であり、全国的には半数の高専で実施されています。1年間という短い時間ですが、クラスの中で多くの友人を作して下さい。友人は将来の財産です。

高専の特長は、思考が柔軟で発想豊かな10代から技術者を目指した勉強を始めることです。技術者への道のりは地道であり、日々の学習が基本と私は考えています。勉強を着実に進めるためには、高専生活での目標を立てて日々努力することです。私たち教員は、皆さんの夢を実現するために、一緒に学び、皆さんを支援します。

～してはいけません。～しなさい。からの脱却

校長補佐(学生主事) 鈴木 秋弘



皆さん、ご入学おめでとうございます。ここ高志台で過ごす学生生活が充実して、実り多きことを期待します。

皆さん、これまで「～してはいけません。」「～しなさい。」と言われてきませんでしたか？ほとんどの人は、大した疑問を持つこともなく、それに従ってきたのではないのでしょうか。ここ長岡高専では、その判断は、君たち学生自身に任されています。「やるのか、やらないのか」は、自分の判断です。当然、その責任は自分に返ってきます。

皆さん、長岡高専にも学校行事(文化競技会、体育祭、クラスマッチ、学園祭、見学旅行)、クラブ(体育会系、文化系;30、同好会5)、各種コンテスト(ロボコン、プロコン、プレコン、デザコン)、学生海外派遣研修(マレーシア、シンガポール、ベトナム、中国)など魅力的な催し物があります。「参加する、しない」も、

決めるのは自分です。私なら、「(どうするか)迷ったら実行(参加)」します。その成果は自分に大きく返ってきます。そして、そこで生まれる付き合いは“絆”となり、“生涯の友”になります。

皆さん、長岡高専の夏休み、春休みは長いです。許可を取れば、アルバイトも可能です。お金を貯めて、将来の自分に投資して下さい！自分の稼いだお金を使うとき、その大切さがわかります。

最後に、長岡高専には学生の自治組織である「学生会」があります。学校生活が充実するような仕掛け作りをしています。学生会に参加するもよし、その活動をバックアップしてもよしです。

教職員も皆さんと同じ長岡高専の一員です。いつでも君たちの話を聞き、側にいます。

長岡高専の主役は君たち学生です！学校は、君たちが創るのです！！

入学おめでとう

校長補佐(寮務主事) 吉野 正信



入学おめでとうございます。これからの5年間に大きな希望を持って入学されたことと思います。皆さん方の三分の一から半数の方々は、学内にあります。高志寮、または清花寮に入寮します。全体で約360名の仲間とともに生活し、勉強に励むこととなります。青年期と言う多感なときを仲間とともに過ごす5年間は、うまく使えば、貴重な5年間となるものです。一緒にいる先輩で一番年齢の高い人は、専攻科の2年生で22歳。留学生が約20名で、その人たちは3年生から編入学してきますが、日本人より1、2歳年齢が上のようです。このような寮ですが、どうか人見知りすることなく、同年齢、同じ日本人だけでなく、上級生、留学生等含め、多めに語り合っ

皆様方の知識を増やし、大人になってください。そして5年後に、寮は楽しく自分を大きくしてくれたとの実感とともに卒業して頂きたいと思っております。

そのためには、次のことを守って頂ければと思います。寮生活を通して社会を認識し、良識を重んじてください。教科書の勉強はもちろんのこと、人生や社会を考えるため、読書に代表される修養を怠らないでください。自分の考えをしっかりと確立してください。いい友達、立派な先輩を見つけ、切磋琢磨してください。人と一生懸命かかわってください。しかしながら、決して流されること無く自主的に行動してください。頭を支える体を鍛えてください。一日を大切に、充実した5年間であってください。

専攻科新入生諸君へ

校長補佐(専攻科長) 片桐 裕則



これまでの専攻科諸先輩方のご尽力の甲斐あって、今年度以降の専攻科入学者に対し、学士認定のための審査方式が大きく変更されることとなりそうです。従来は、専攻科2年次の10月に、大学評価・学位授与機構に対し学位申請すると共に学修成果レポートを提出し、12月に本レポートに関連した小論文試験を受験する必要がありました。しかも、本校の場合、受験地は東京に限られていたのです。これらはかなり煩雑で、専攻科生が常に多忙を極める要因の一つとなっていました。より深い研究を目指して専攻科に進学したものの、実際はなかなか纏まっ

た時間がとれないという不満もあった様です。

新審査方式においても、2年次の10月に学位申請を行うことには変わりありません。しかし、その後の手続きは従来とは異なったものとなり、専攻科生の負担が大幅に軽減されるとのことです。つまり、これまで以上に、じっくりと腰を据えた研究が可能となるのです。

本校教員は、学生の知的好奇心をくすぐるよう、常に刺激を当て続けることが重要な業務と心得ています。世の中をパアツ(PAA)と明るくする様な研究成果を目指して、Positiveに、Activeに、Aggressiveにこれからの2年間で過ごして頂きたいと思っています。

学生相談室長・新入生学級担任 からのメッセージ



「抱えきれない痛みは、抱えなくて別にいい」

学生相談室長 猪平 直人



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。タイトルに借用したのは、高橋優というアーティストの歌詞の一節です。なかなか素敵なフレーズだと思いませんか？

人間は「自立」することを求められます。「自分のことは自分で」「人に迷惑を掛けない」——他人の力をなるべくあてにせず、力を尽くすことは、人が学ぶべき大事な姿勢です。人生では、一人で辛抱するしかないことも起きるでしょう。そんな経験を積み重ねて、人は少しずつ自立を果たしてゆきます。

ただ、上手に人に頼ることも、同じように大切です。誰かに「辛い」と打ち明けること自体は、逃げでも悪いことでもありません。抱えきれない痛みを抱え込んだま

ま、自分がつぶれてしまうくらいなら、つぶれる前に誰かに悩みを打ち明けてみてください。人と話をするだけでも、意外に心は楽になるものです。なぜなら、人と話すというのは、誰かと何かを分かち合うことだからです。

悩みや辛さを誰に話したらよいかわからない時は、学生相談室を利用してみませんか？全学科に必ず教員の相談員がいます。看護師・カウンセラーも所属しています。どこに行けばよいかわからないなら、まずは2号館1階の保健室をたずねてみてください。相談内容は、勉強、人間関係、心や体の不調など、どんなことでも構いません。相談の秘密は厳重に守られ、本人や関係者の同意を得て、問題解決の手助けをすることもできます（保護者の皆様もご利用になれます）。詳しい利用方法については、別途配布する学生相談室だよりと、本校ホームページをご覧ください。

充実した毎日を！

1年1組担任 佐藤 直紀



新入生の皆さん、入学おめでとう。先日、この春大学院博士課程を修了間近の本校OBから話を聞く機会がありました。彼は本校卒業後、大学に編入学し、さらに大学院に進学しました。大学院時代は、アメリカに留学もしたそうです。4月からは化学系の企業で働いています。彼は、「高専の先輩から、『少なくともテスト期間は毎日6時間勉強するべき』とアドバイスを貰った」と言っていました。実際、彼はそのアドバイスを実行したそうです。もちろん、テスト期間以外のときも彼は授業をきちんと受けていました。私は彼が1～2年時の担任だったので、彼の勉学に対する努力は良くわかりました。

成績が良い状態で安定していたのでなおさらです。学習した成果は必ずあらわれます。苦手な科目は避けて通りた

くなる気持ちは私にも痛いくらいわかります。しかし、卒業しなければ入学した意味がありません。ここは学校です。皆と一緒に勉強しましょう！彼からは他にも興味深い話が聞けたのですがこの続きは次の機会に紹介します。

もうひとつは、健康についてです。特に夜更かし！夜更かしは楽しいものです。ゲーム、読書、携帯？、勉強！…なかなか止められないものが世の中には多いですよ。けれど、屋間の活動に悪影響が出てしまっはけません。寝る子は育つ、夜はしっかり寝ましょう。

本年度から、混合学級がスタートします。いろいろ準備をしてきましたが何か見落としがあるかもしれません。もしかしたら1年生の諸君に迷惑をかけてしまうこともあるかもしれません。それでも、新しいことに挑戦することにドキドキしています。

皆さん、一緒に頑張りましょう！

人生の土台づくり

1年2組担任 大湊 佳宏



新入生の皆さん、ご家族の皆様、ご入学おめでとうございます。入学を決意された経緯は人それぞれだとは思いますが、在学中は多くのことに熱中し、努力し皆さんが学生生活を本当の意味で楽しめるようにしていきます。そしてそれを全力でバックアップさせて下さい。そのためのコツをひとつお教えします。それは自分自身が「長岡高専生」であることを誇りに思える学生生活をおくることです。詳細は、新学期が始まってから教室でお話しますが、大学編入学や就職の際の面接試験で、「長岡高専卒です」と胸を張って言える土台を5年間かけて築き上げましょう。日々の生活態度、毎日の授業に向かう姿勢、課外活動での行動、いきなり立派なことは

できなくとも、小さな努力を毎日重ねましょう。日頃のあいさつ、落ちているごみを拾う、黒板を綺麗にする、つけっぱなしの電気を消す、困っている人には声をかける、家での手伝いを黙ってする、トイレのスリッパをそろえる、などなど。さらには、チャレンジ精神も大切です。得意なことはもちろん、苦手なことにも挑戦してみましょう。例えば、読書、運動、英語、暗記、ボランティア、他人との会話、早起きなど苦手なことは人それぞれですが、それが苦手な理由は自身が適した性質を持ち合わせていないからではなく、そこに成長の余地が存在する、ととらえるとよいでしょう。5年後の自分を想像できますか。ゆっくりで構いません、まわり道をして構いません、皆さんが一生懸命前進していく5年間の道のりを一緒に歩ませて下さい。楽しみにしています。

入学おめでとうございます



新入生のみなさん入学おめでとうございます。皆さんは長岡高専生としての学生生活がスタートしました。夢の実現に向かって歩み始める日々が始まろうとしています。皆さんは期待と不安で胸がいっぱいではないでしょうか。でも、皆さんの周りの仲間はみんな同じです。勇気をもって言葉を掛け合い、1日も早く良い関係を築きましょう。

新入生のみなさんには以下のことを期待しています。1つ目は、誠実であってほしいと思います。自らの夢をかなえるために学力を伸ばし技術を身につけ、人間性を高めるためには、誠実であることが欠かせません。誠実さとは人としてだけでなく、授業や学校生活の取り組みすべてにおいて意識をしてください。学

1年3組担任 大森 理聡

校生活を送るうえで「何かが出来ない」ことは問題ではありません。「出来ないこと」に向かいあい、取り組もうとすることが大切です。自分の現状を見て前向きに取り組む誠実さを身につけてください。

2つ目は、自分の可能性を拓けてください。「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」と予測している研究者もいます。今の我々の知らない仕事がかんたんできてくるような時代です。長岡高専できちんと身に着けた技術は、そのような時代には役に立ちます。様々な刺激を吸収し自らの興味・関心を拓けてください。

高専での生活に慣れ入学当初の目標が変わることもあるでしょう。しかし、5年後にいい高専生活だったと言えるように高専生活を充実させてください。

凝り固まるな、しなやかになろう。



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから皆さんは、質・量ともに中学のレベルをはるかに超える学習と、さまざまな生活体験を、本校で積み重ねていくことになるでしょう。本校に限らず、高校より上の学校では、入学試験を行い、一定の学力レベルに達した人間を選抜しています。その同等の能力の人たちの中で、また新たな序列が作られていくわけですから、中学までは「自分はできる」と思っていた人も、厳しい現実を突きつけられることになるかもしれません。

そこからが本当のスタートです。自分が何のためにここにいて、何のために学ぶのか。その問いには、自分で答えを出すしかない。見えてきた現実が、懂れて

1年4組担任 猪平 直人

いたものと違って感じるとしても、そこからの歩き方によっては、思い描いた世界の方に進んでいけるかもしれない。自分が望む未来はどんなものか、そのために何をすべきか。今はまだ漠然としか見えなくても、未来に続く具体的な道筋を見つけ出せるよう、自分なりに努力を続けていってください。

自分の未来も、そこへたどりつく道筋も、一本道とは限りません。いろいろなことを経験しながら、まだ見ぬ未来を模索してください。「自分にはこれしかない」と決めつけるのはまだ早いかもしれない。皆さんは「自分磨き」「自分づくり」の途中です。迷いはあって当然です。色々な可能性に広く目を向け、柔軟になって、折れず曲がらず、健やかに歩いていきましょう。

高専生活に必要なもの



新入生の皆さん、入学おめでとう。長岡高専へようこそ。皆さんは、これからの高専生活に期待と不安をもっていることと思います。そこで、私からのアドバイスとして、高専生活に必要なものを2つ挙げます。

1つ目は「挑戦」です。高専には、各専門分野に精通した教職員、本科1年から専攻科2年までの7学年にわたる幅広い年代の学生がおり、留学生もいます。また、様々な実験設備や充実した施設があります。勉強でも課外活動でも人との交流でも、自ら進んで挑戦していけば、多くの体験ができる環境が整っています。何事も、実際に取り組む事で初めて見えてくるのが沢山あります。やってみたら意外なことが難しかった、思ったよりうまく出来たなどの感覚は、やってみたら

1年5組担任 山田 章

にしか分かりません。5年間、挑戦してやってみる体験を重ねていくことで、自分の適正や希望を見つけ出し、将来の足がかりを掴んで欲しいです。

2つ目は「継続」です。何かをやる時、短期的に集中することがあるでしょう。それも大事なのですが、ただの一時しのぎになってはあまり意味がありません。日々しっかりと継続的に取り組むことで、初めて自分自身の真の力となるのです。最初はうまく出来なくても、やり方を工夫したり、誰かに教わったりしながら諦めずに続けることで、少しずつ成長し、やがて出来るようになります。まさに「継続は力なり」です。

5年間の高専生活を素晴らしいものにできるかどうかは、皆さんの心構えと取り組みにかかっています。さあ、「挑戦」と「継続」の二つを心に抱き、高専生活という冒険の旅を始めましょう。

施設紹介

総合情報処理センターで できること

佐藤 秀一 / 竹部 啓輔 / 上村 健二 / 渡邊 雅博

総合情報処理センターでは、長岡高専のネットワーク全体を管理しています。これによって、皆さんは校内や寮などから様々なネットワークサービスを受けることができます。1) 学生全員にメールアドレスが配布され、そのメールの送受信をインターネットを利用して遠隔地から行ったり、携帯電話に転送するように設定することができます。2) また、センター内のデジタルカメラ・大型プリンターなどのマルチメディア関連機器も利用できます。6号館5階にあるWebカメラからの風景画像の配信サービスも行っています。3) センター端末室は、授業の無い空時間や放課後に一部開放していますのでご利用下さい。どうぞ、当センターを活用し、有意義な高専生活を送ってください。

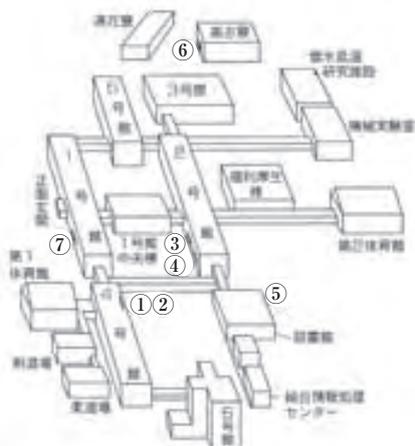
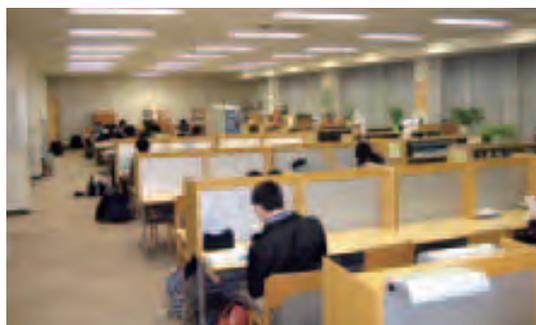
- 1) <https://www2.st.nagaoka-ct.ac.jp/>
- 2) <https://webmail.nagaoka-ct.ac.jp/>
- 3) <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/webcam/>



図書館を有効活用しよう!

図書館長 河田 剛毅

図書館のメインの閲覧室は2階にあり、高専での勉強に必要な専門書、学習参考書はもちろん、一般書籍、文学書籍、雑誌等、多数取り揃えています。ちょっと変わったところでは英語の絵本コーナーがあります。これは英語多読用の教材としても利用されているもので、読みやすさ別に区分されているので自分のレベルに合わせて気軽に読むことができます。1階には数人で話し合いながら学習できる「グループ学習室」、パソコンでの情報検索等が行える「情報検索室」のほか、人数や使い方に応じてレイアウト可能なテーブル席が設置されている「学習コーナー」、新聞・雑誌が置いてある「ブラウジングコーナー」があります。ネット上の便利なサービスとして「My Library」があり、これを使うと自分が今借りている本の返却日、これまで借りた本の履歴等の確認ができるほか、希望図書をリクエストすることができます。スマホやパソコンでは味わえない世界が図書館にあります。知識だけでなく、心の糧も得ることができる図書館へ是非足を運んでください。



学生のための窓口

- ① 学生課教務・入試グループ
4号館1階
 - ・学生証の交付
 - ・欠席届の提出、休学、復学、退学の願い出
 - ・時間割変更、休講などの確認
 - ・在学証明書、成績証明書の交付
- ② 学生課学生支援グループ
【学生支援担当】4号館1階
 - ・課外・学外活動、合宿の手続き
 - ・奨学金、授業料の免除
 - ・旅客運賃の割引証・通学証明書の交付
 - ・校内アナウンスの機器使用
 - ・教室掃除用具の補充
- ③ 保健室 2号館1階
 - ・保健衛生相談、病気、ケガの手当
- ④ 学生相談室 2号館1階
 - ・精神的カウンセリング(悩み相談等)
- ⑤ 図書館
 - ・図書・雑誌・新聞の閲覧、貸出、返却
 - ・情報検索サービス
 - ・文献複写サービス(有料)
 - ・AV資料の視聴
- ⑥ 学生課学生支援グループ
【寮務担当】
 - ・入退寮の手続き
 - ・寄宿料の免除(風水害等の場合)
 - ・集会届、欠食届などの寮関係手続き
- ⑦ 総務課財務・企画グループ
1号館1階
 - ・授業料の納付
 - ・学生会費その他の経費の納付



行事

11月3日(月)……………高志祭後片付け
 11月26日(水)……………学科4学年編入学試験(臨時休業日)
 11月27日(木)～12月2日(火)…学科1～3学年中間試験

12月3日(水)……………学科4学年編入学試験合格発表
 12月中旬……………学生総会
 12月17日(水)……………学生会行事
 12月中旬……………校内大清掃
 12月25日(木)～1月6日(火)…冬季休業

1月7日(水)……………授業再開
 1月14日(水)～16日(金)……学科2学年スキー合宿
 1月20日(火)……………学科1学年推薦・専攻科社会人特別選抜入試(臨時休業日)
 1月23日(金)……………専攻科特別研究発表会
 1月27日(火)……………学科1学年推薦・専攻科社会人特別選抜入試合格発表
 1月28日(水)～29日(木)……卒業研究発表会

2月6日(金)～13日(金)……学年末試験
 2月15日(日)……………学科1学年学力入試
 2月下旬……………校内大清掃
 2月20日(金)……………学科1学年学力入試合格発表

3月2日(月)～18日(水)……臨時休業日
 3月19日(木)……………第49回学科卒業式
 第14回専攻科修了式
 3月20日(金)～31日(火)……学年末休業

寮行事

4月3日(木)～5日(土)……指導寮生・寮友会合宿研修
 4月6日(日)……………開寮
 4月7日(月)……………入寮式, 新入寮生懇談会, 歓迎夕食会
 5月14日(水)……………寮防災避難訓練
 6月20日(金)～22日(日)……寮祭
 8月11日(月)……………閉寮
 9月17日(水)～18日(木)……寮生保護者会
 9月21日(日)……………開寮
 12月25日(木)……………閉寮
 1月6日(火)……………開寮
 3月1日(日)……………閉寮

学生会長・寮長からの新入生歓迎 メッセージ



第一歩 ～新生活の始まり～

学生会長 小川 耀一郎

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。長岡高専によるこそ！これからの5年間で皆さんは今まで経験したことのないさまざまなことを学ぶことになるでしょう。人との関わり方、我を忘れて思い切りはしゃぐ楽しさ、自分の好きなことに熱心に取り組める充実感、時には集中してやるべきことを終わらせること。これらはとても大切で、ここにいるからこそ学べることだと思います。ぜひ高専のすばらしさを発見してみてください。高専生活を楽しむために、たくさんのことに取り組んでみてください。きっとたくさんの人と関わり、充実した毎日になるはずです。まずは部活動や学生会に参加しましょう！



長岡高専へようこそ！

高志寮寮長 橋立 大

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。いろいろな思いをもって、高専に入学していることだと思います。高専は中学校の時と違い、授業がとても長かったり、建物、教室がとても多かったり、家が近い友人がいなかったり、とても驚くことでしょう。僕自身この学校に入学して、環境の変化に、不安がいっぱいでした。でもそんなとき僕の支えとなったのが、クラスの友達、寮の友達でした。この5年間という長い高専生活を楽しく過ごすにはやはり信頼できる仲間が必要だと思います。だからみなさん積極的にクラスメートに話しかけたり、部活に入ったりして自分をアピールしてください。

高専は5年制ですが、時間が経つのはあっという間です。自分なりに悔いなく、楽しく高専生活を過ごしてください。



新入生のみなさんへ

清花寮寮長 清水 真穂

新入生のみなさんご入学おめでとうございます。

女子寮長の清水です。私から皆さんにアドバイスがあります。

まず、慣れない環境で大変でしょうがそんな時だからこそ殻に閉じこもってないで挑戦してください。寮では寮祭などイベントがあります。ぜひ自分から参加して楽しんでください。寮生活以外にも部活動や学生会があります。ぜひ自分の興味がある部活や部署があったなら迷わずそこを訪ねてみてください。きっとあなた達が入ってくるのを先輩は心待ちにしています。また寮での生活面では先輩や同級生に話しかけてください。恥ずかしがらず積極的に声をかけていってください。もしかしたら勉強や学校のことを教えて貰えるかもしれませんよ。最後に長いようで短い高専生活を心からたのしんでください。



(下段写真 2枚：冬寮祭り)

学生会役員紹介と一言メッセージ



学生会長 電気電子システム工学科4年 小川 耀一郎
 学生会副会長 物質工学科4年 梶原 優奈
 学生会副会長 物質工学科4年 菊入 祐生

総務部	部長	機械3年	大口 将司
	副部長	物質2年	寺尾 玲都
会計部	部長	電電3年	黒川 佳穂
	副部長	環境3年	永原 瑠華
外交部	部長	制御4年	佐藤 瑞記
	副部長	制御4年	樋口 弘宣
部活動推進支援部	部長	機械2年	佐藤 大樹
	副部長	物質2年	小林 奈央
広報部	部長	制御4年	羽龍 友紘
	副部長	電電3年	伊藤 涼平

体育委員会	委員長	制御4年	岩淵 雅人
	副委員長	電電2年	山口 雅人
文化委員会	委員長	機械4年	石丸 暁嗣
	副委員長	環境4年	小林絵理奈
整備厚生委員会	委員長	物質3年	荒木俊太郎
	副委員長	電電5年	内藤 拓海
図書委員会	委員長	機械3年	佐藤 雅
	副委員長	電電2年	安原 雅喜
学園祭実行委員会	委員長	物質4年	田中 拓馬
	副委員長	電電4年	村山 大河
文化発表会 実行委員会	委員長	物質2年	小池みさき
	副委員長	物質2年	井田 祐子

新役員のコメント

●副会長 物質工学科4年 梶原 優奈

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。私たち学生会役員は、楽しく過ごしやすい学校を目指し様々な企画を行っています。長岡高専にはたくさんの行事があるので積極的に参加し、仲間と良い思い出を作りましょう!

●副会長 物質工学科4年 菊入 祐生

ご入学おめでとうございます。今は期待と不安を抱えていることでしょう。5年間はあっという間です。気構えず、部活や学生会役員などに気楽に挑戦してください。そしてなにか打ち込めるものを見つけ、充実した楽しい高専生活を送ってください!

●総務部長 機械工学科3年 大口 将司

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。総務部は、評議会や学生総会の運営、日常活動では役員会の議事録などを行っています。来年度は、皆さんがより良い高専生活を送れるようにしていきたいです。

●会計部長 電気電子システム工学科3年 黒川 佳穂

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。会計部では、部活動や学生会、また学園祭などの学校行事に関するお金の管理をしている部署です。何事にもお金というものは関わってくるので、少しでも皆さんが動きやすいようサポートできれば、と思っています。これからはじまる学校生活を楽しんでください。一年間宜しくお願いします。

●外交部長 電子制御工学科4年 佐藤 瑞記

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。外交部では他の高専との交流会を行っています。高専に入ったからには部活や学生会、勉強など、自分の興味のあるものに挑戦していきましょう!

●部活動推進支援部長 機械工学科2年 佐藤 大樹

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。この委員会では、部活動の様々なサポートをしています。今年も、一つ一つの活動を円滑に進められるように努力します。ぜひ部活動・同好会に積極的に参加して高専ライフを十二分に過ごしてください!

●広報部長 電子制御工学科4年 羽龍 友紘

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。広報部では学生会HPや学生会掲示板を利用した広報活動を主な仕事としています。今年度は学生会HPを一新しようと考えています。学生の皆さんにもっと利用してもらえそうなHPを作成したい...いえ、します!どうか1年間よろしくお祈りします!

●体育委員長 電子制御工学科4年 岩淵 雅人

新入生の皆さん入学おめでとうございます。体育委員会では主に体育祭とクラスマッチの企画・運営を行っています。今年度は昨年度行えなかった体育祭を盛り上げていきたいと思います!また運営はとても大変ですが、とても多くの人とかがわることができます。興味のある方は是非一度来てください。

●文化副委員長 環境都市工学科4年 小林 絵理奈

ご入学おめでとうございます。文化委員会では季節に応じ、遠足や様々なコンテスト等のイベントを行っています。是非積極的に参加していただき、皆さんで盛り上げていきましょう。宜しくお願い致します。

●整備厚生委員長 物質工学科3年 荒木 俊太郎

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。整備厚生委員会は主に校内や学校周辺の美化活動を行っています。花植え作業時には委員以外からもボランティアを募集するので、興味のある方は是非参加してみてください。

●図書委員長 機械工学科3年 佐藤 雅

図書委員会では、自分で直接本を買いに行くブックハンティングや、学園祭で本を売る古本市など、他では絶対ないイベントを実施しています。今年度高専を100%楽しむために、ぜひ友達を誘って図書委員会にお越し下さい。

●学園祭実行委員長 物質工学科4年 田中 拓馬

新入生の皆さん入学おめでとうございます。この学校は毎年「木工祭」という学祭を行うのですが、3年に1度「高志祭」という木工祭よりも規模の大きなものになります。皆さんラッキーですね、今年はなんとその高志祭です!そしてその学祭を企画、運営するのが私たち学園祭実行委員です。ですが、どんな学祭になるかは皆さん次第です。みんなで学祭を盛り上げていきましょう!是非積極的に学祭に参加してみてください。

●文化発表会実行委員長 物質工学科2年 小池 みさき

文化発表会とは年に一度、関東信越地区の高専の文化部が集まりダンスや作品などお互いの活動内容を発表し合うイベントです。今年の開催地は東京です。より多くの方に参加し、楽しんでいただきたいと思います!

クラブ部長からの一言メッセージ



★陸上部 物質工学科 生越 大河

足が速くなりたい。健康的な生活を送りたい。友達をたくさん作りたい。高専生活を充実させたい。頑張る楽しさを感じたい。そんなあなた、陸上やりましょう。

★バスケットボール部 機械工学科 杉谷 謙太

新入生のみなさん入学おめでとうございます。わたし達バスケ部は部の目標である高専大会優勝に向けて日々の練習をがんばっています。経験者、未経験者問わず大歓迎なのでぜひ第1体育館まで足を運んでみてください。

★バレーボール部 電気電子システム工学科 中山 祐一

バレーボール部は部員12名の部活でワイワイ楽しく活動しています。火水木曜日放課後に第2体育館で活動しているので興味のある方はぜひ来てみてください！マネージャー＆初心者も大歓迎です！

★ソフトテニス部 機械工学科 小池 廉太郎

1年生の皆さん、入学おめでとうございます。ソフトテニス部は今年度も楽しくテニスをしていきます。初心者から経験者まで「ソフトテニスがしたい」「外でスポーツがしたい」という方は一緒に楽しくテニスをしましょう。

★硬式テニス部 環境都市工学科 堀澤 英太郎

硬式テニス部は部員の多くが硬式テニス未経験者ですが、部員全員で協力して楽しく活動しています。テニスをしてみたいと思ったらぜひ一度テニスコートに来てみてください。初心者も経験者も大歓迎です！

★卓球部 環境都市工学科 安達 裕仁

高専卓球部は他の学校に比べると練習時間が短いですが、皆自分の目標に向かって日々の練習をがんばっています。初心者の方も、経験者の方も、大歓迎です。

★サッカー部 電子制御工学科 大谷 龍司

1年生のみなさん入学おめでとうございます。サッカー部は、部活が楽しすぎて勉強が手につかなくなるような部活になる予定です。この学校ではあまり感じられない青春も少しではありますが感じられるかもしれません。気になった方は一度サッカー部に来てみてください。

★柔道部 物質工学科 渡部 領一

こんにちは！柔道部です！柔道部は月曜日から土曜日まで活動しています。平日は1時間半、休日は2時間半と、短時間集中でがんばっています。応援よろしくお願ひします。

★剣道部 機械工学科 鍋崎 涼太

剣道部です。剣道部は日本の文化を守り、剣道を行う部活です。部員も少なく、活動している曜日は月、水、木と週に3回ですがとても楽しく活動しております。剣道に興味がある人は是非入部してください。

★バドミントン部 電気電子システム工学科 澤淵 圭

バドミントン部では、練習中は楽しく、他学年・他学科との交流が充実しています。大会出場も多く、成績も残っています。体を動かしたい！いろんな人と交流したい！という方はぜひバドミントン部へ！

★ハンドボール部 物質工学科 春日 景太

え？ハンドボールって何かだ？そんな君はハンドボールの見学に行こうじゃないか！ハンドボール部は学年の壁を越えて仲良く活動しています。初心者も大歓迎な部活です。一緒に全国を目指しましょう！

★水泳部 機械工学科 吉野 拓弥

私たち水泳部は、昨年は高専地区大会で総合優勝を果たした、とても活動的な部活です。また心も体力も成長できる部活です。今年の目標は、高専地区連覇です！！

★硬式野球部 機械工学科 五十嵐 賢

硬式野球部のモットーは「みんな楽しく」なので練習の雰囲気がとても良く、部員はのびのびとプレーしています。経験者、初心者は問わないので興味のある方は見学だけでもいいので是非来てください。マネージャーも募集中です！！

★スキー部 電子制御工学科 小山 陸

スキー部は普段から外での活動を通して体力を作り、冬の合宿で技量を高めたりしています。目標は年に1回スキー検定を受け役位をあげ続ける事です。今年も頑張っていきたいと思います。

★山岳部 機械工学科 志田 弘喜

こんにちは。僕たち山岳部は、山を愛し、自然の良さを再発見できる部活です。共に山頂からの素晴らしい景色を眺めましょう！是非、山男、山ガールになってみませんか？

★アーチェリー部 電子制御工学科 山脇 大毅

アーチェリー部は楽しく安全に活動していくことを第一に考えています。高専からアーチェリーを始めた部員ばかりなので、心配せずには気軽に参加してみてください。的を撃ち抜いたとき、あなたや周りの人たちの心も撃ち抜かれるはず。なかなか体験できないスポーツをみんなで一緒に楽しみませんか。

★ゴルフ部 電子制御工学科 大川 隼杜

ゴルフ部は平日に悠久山ゴルフガーデンさんで活動しています。授業が早く終わった日や夏休みになるとコースに出て日頃の練習の成果を確かめに行ったりもします。思いっきりボールを打ちたい人は参加してみてください。

★フットサル部 機械工学科 石丸 暁嗣

フットサルは室内サッカーのようなもので5対5で試合をします。最近では三浦知良が日本代表になったりと少し話題になり、みなさんも知ってると思います。フットサル部は去年同好会から部活となりました。週2日で初心者もサッカー経験者も混ざって楽しくやっています。

★ダンス同好会 物質工学科 茨木 彩乃

私たちダンス同好会DancingZは、学祭や文化発表会で発表しています。踊るのが大好きな人、ダンスを見るのが好きな人は一度見学に来てみてください。男女ともに大歓迎です！私たちと一緒に楽しく踊りましょう！

☆吹奏楽部 物質工学科 荒木 俊太郎

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。吹奏楽部は校内での演奏会や県内の大学生との合同演奏会に向け、日々楽しく活動しています。楽器経験の有無は問いません。ぜひプール脇の部室に立ち寄りみてください。

☆美術部 物質工学科 村山 琳

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。美術部は自由で、多様な分野の作品作りに個人で取り組んでいます。年には発表会もあり、先輩や他校生とも仲良くなれるかも…！興味があったら気軽に見学に来てください。

☆写真部 電気電子システム工学科 五十嵐 陽

皆さん入学おめでとうございます！写真部は撮影旅行に行ったり、学校付近の風景を撮ったりしています。写真を撮るのが好きな人、写真という形で思い出を残したい人大歓迎です！

☆インターアクト部 物質工学科 小嶋 優希

インターアクトは児童養護施設の訪問や、震災募金など、様々な活動を行いました。活動に携わってくれた部員や先生方、多くの人々に感謝し、来年度も活動を続けていきたいと思っています。

☆電算機部 電子制御工学科 米山 慧

電算機部ではプログラミングで主にゲームなどを作っています。プログラミングに興味があるという人やゲームを作りたいという人はぜひ来てみてください。

☆文芸部 電気電子システム工学科 茨木 佑弥

文芸部は年に3回ほど「感個鳥」という部誌を作成して配布しています。また感個鳥は入学式の時に配布をするのでぜひ、読んでみてください。そしてもし文芸部に興味があったらぜひ部室のほうに来てみてください。

☆軽音楽部 物質工学科 和田 歩夢

弾き語りからメタルまで、あなたの好きな音楽をやってみませんか。活動に縛りはないので気楽に入部してみてください。楽器未経験者も大歓迎です。

☆ロボティクス部 機械工学科 水落 祐樹

昨年はロボカップ世界大会出場という良いこともありましたが、NHKロボコンで全国大会出場を逃し悔いの残る年でした。これまでの反省を生かし、今年度は全国大会に出場して結果を残したいと思います。

☆英語部 電子制御工学科 佐野 尚友己

ご入学おめでとうございます。高専で充実した学校生活を送る上で欠かせないのが部活動です。英語部では英語を使ったボード・カードゲームや、英検対策など英語を使いたいような活動をしています。もし部活動で悩んでいるという人がいたら、ぜひ一度英語部に来てみてください。英語が得意な人はもちろん、苦手な人でも大歓迎です。

☆化学部 物質工学科 栗山 兼吾

文化発表会、学祭、地域交流会、化学インターハイなど昨年度の化学部もイベントが盛りだくさんでした。これからももっと化学部の活動を盛り上げていきたいです。

☆書道部 電子制御工学科 齋藤 紫苑

書道部は年に2回作品を完成させ出展する機会がありますが、それ以外は部員でいろいろしながら過ごしています。初心者でも大丈夫なのでぜひ部室に足を運んでください。

☆デザイン部 環境都市工学科 佐藤 信輔

ご入学、おめでとうございます。デザイン部では11月のデザインコンペティションという大会に向けていろいろなものを作っています。今年の会場は熊本です。物を作ることが好きな人、興味のある人、是非来てみて下さい！

☆制御システム同好会 機械工学科 鈴木 快旺

私たち制御システム同好会では、主に電子回路やプログラミングで動作するロボット、ラジコンカーなど様々なマシンを各個人で自由に製作しています。土日以外ほぼ毎日活動でき、見学も自由なので気軽に部室へ足を運んでみてください。

☆模型同好会 機械工学科 高波 諒

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。プラモデルを作った事はありますか？模型同好会は、初心者でも大歓迎です。是非一緒に模型のある生活をエンジョイしましょう。

☆天文同好会 環境都市工学 外山 結加

天文同好会では観測、撮影、講演会への参加が主な活動内容となっております。今年も去年に引き続き皆で楽しく活動したいと思います。星が好き、人間ではない(魚、クラゲ、水生生物が部員にいます)という人大歓迎です。

※ ★は運動部、☆は文化部を示す。

平成 26 年度第1学年入学者選抜実施報告



平成 26 年度第 1 学年入学者選抜は、推薦による選抜は本校を含む県内 3 か所（長岡市，新潟市，上越市）に会場を設け実施し，学力検査による選抜は東京会場を加えた 4 会場において実施しました。今年度の志願者は 328 名。昨年度を上回り，競争率は定員 200 名に対し，1.64 倍となりました。

優秀な学生の獲得に向けて，今年度もオープンキャンパス，入試説明会及び学校訪問等，県内の中学生に向けた本校の入試 PR に一層力を入れて行きます。来年度入学者の選抜も受験生の便宜に最大限配慮し，県内外複数会場における実施を継続し行います。

平成 26 年度入学者選抜では，推薦による選抜，学力検査による選抜合わせて 225 名の合格者のうち，所定の入学手続きを行った 209 名に入学を許可しました。

●全体

学 科 別	機 械	電気電子	電子制御	物 質	環境都市	合 計
志願者数*	66	68	66	67	61	328
合格者数	45	45	45	45	45	225
入学定員	40	40	40	40	40	200
志願倍率**	1.65	1.7	1.65	1.68	1.53	1.64

* 志願者数：最終的に合格となった学科を志望学科として整理しています

** 志願倍率：定員に対して算出しています

■ 推薦による選抜

平成 26 年 1 月 21 日(火)に推薦による選抜を実施しました。80 名程度を定員としているところに特別推薦志願者 3 名を含む 95 名が志願しました。面接による試験により（特別推薦は面接試験とプレゼンテーション）選抜をおこない，81 名を合格とし，1 月 28 日(火)に合格発表を行いました。

●推薦

学 科 別	機 械	電気電子	電子制御	物 質	環境都市	合 計
志願者数	16	15	24	26	14	95
合格者数	16	15	18	18	14	81
推薦実質倍率	1	1	1.33	1.44	1	1.17

■ 学力検査による選抜

平成 26 年 2 月 16 日(日)に学力検査による選抜(理科，英語，数学，国語，社会の 5 教科)が全国の国立高専で一斉に実施されました。

この冬は関東甲地区が歴史的な大雪に見舞われ，東京会場の入試が予定通り実施できるか危ぶまれましたが，幸い遅刻者もなく，無事試験を終了しました。

選抜の結果，学科により 27～31 名を合格とし合計 144 名を合格者として 2 月 21 日(金)に発表をおこないました。

平成26年度第1学年 出身中学校所在地地域別入学者一覧

出身中学校所在地	入学者数	学科別内訳					
		機 械	電気電子	電子制御	物 質	環境都市	
県内	長岡市	101	17	19	17	27	21
	新潟市	36	9	5	11	5	6
	見附市	9	1	4			4
	燕市	8	2		2	2	2
	小千谷市	7	1	2	1	2	1
	三条市	6	1	3	2		
	柏崎市	6	1		2	2	1
	妙高市	6	1	1	3	1	
	上越市	5		1	2	1	1
	十日町市	3	1	1		1	
	魚沼市	2	2				
	南魚沼市	2	1				1
	新発田市	2		1			1
	五泉市	1					1
	加茂市	1		1			
	阿賀野市	1			1		
県外	糸魚川市	1				1	
	胎内市	1			1		
	村上市	1	1				
	埼玉県	4	1	1	1		1
神奈川県	3	1	1		1		
長野県	2	1			1		
栃木県	1		1				
入学者計	209	41	41	43	43	41	



専攻科での1年間を振り返って

電子機械システム工学専攻

茂野 拓也

忙しい1年でした。専攻科の授業のほとんどは選択授業であり、2年間で必要単位数を修得すればよいのですが、2年目に忙しい思いをしなくなったため、選択科目を多めに取りました。毎日の課題の量が多くなり、大変でした。また、電子機械システム工学専攻のように3学科からなる専攻は、科目によって本科との内容にギャップがあり、自力で課題を解くことが難しいことがあります。早いうちに他学科の友達を作っておけばよかったと思いました。

夏休みには2週間のインターンシップ(学外実習)があり、私は茨城県大洗町の原子力研究開発機構に行ってきました。原子力発電所のシミュレータの操作など、普段ではすることのできない体験ができ、とても面白かったです。期間が2週間と長いので、自分の興味のある実習先を選ぶことをお勧めします。



素敵な仲間それと僕

電子機械システム工学専攻

大脇 佑二郎

変わらない環境の中、継続して研究出来ることに魅力を感じた僕は専攻科へと進路を進めました。しかし入学してみると、プレゼンの多い授業や今までとは違った仲間との出会い、山積する課題等、そんな新鮮な環境に揉まれに揉まれた1年だったなと思います。

行事の面でもその色は濃く、学園祭では5年ぶりに演劇の役を演じることで多くの後輩と関わることができ、インターンシップでは本科4年よりも長い期間の研修を通して、仕事の大変さ、コミュニケーションの重要性を再確認することができました。

研究では、先輩や後輩そして同期とともに達成感を共有したこと、僕の体型を懸念してか長岡のグルメをともに食したこともありました。太りませんでした。残り1年、悔いの無いよう有終の美を飾りたいですね。



この1年を振り返って

電子機械システム工学専攻

宮部 博之

専攻科に入学してから1年が経ち、高専での生活も残すところ1年となりました。この1年間は課題や研究に追われる毎日でした。しかし、私は身体を動かさないとストレスが溜まってしまう性格です。それゆえに、時間ができたらリフレッシュのために、本科から続けているバドミントン部に顔を出すようにしました。忙しいからこそ、勉強や研究を計画的に行い趣味の時間を作るなど、時間をしっかりと管理することが大切だと感じました。就職したら学生時代よりさらに時間の管理がシビアになると思いますので、この1年間は計画的な時間管理ができるよう更に気を付けていくつもりです。また、現在のクラスメイトとも本当に最後になるので、思い出づくりに皆と旅行に行くことも考えています。



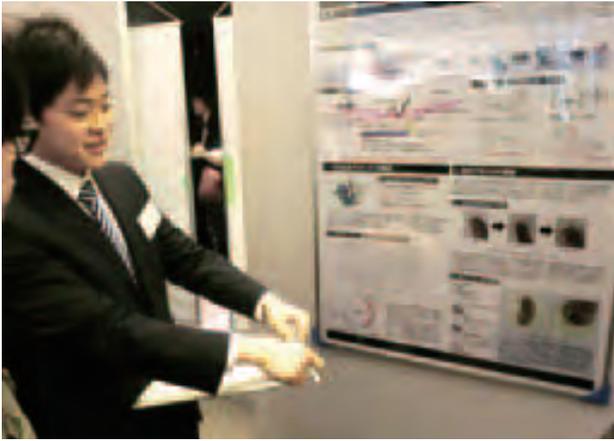
専攻科での一年を振り返って

物質工学専攻

加島 徳人

専攻科に入学してから早くも1年が経とうとしています。この1年間を振り返ってみるととても短かったように思います。今年1年間は様々な経験ができた1年間だったと思います。特に学会での研究発表は自分にとって何が足りないか、今後どうしていけばより良い結果が出せるか、大学院生の人たちはデータをどのように整理しているのか等、研究室にいただけではわからない様々な事を学ぶことができました。また、長期インターンシップでは研究職の現場や働いている人の考え方、働く上でコミュニケーション能力がいかに大切かということ等、やはり研究室にいただけではわからない事を学ぶ事ができました。

今後は就職活動や研究で忙しくなるとは思いますが、悔いの残らない充実した1年にしたいと思います。



うと思います。

不完全燃焼な1年ではありましたが、専攻科に入って他学科の人と交流することができましたし、仲間との楽しい思い出も作ることができたので、そこそこ充実した1年でもあったと思います。



専攻科での1年間で振り返って

環境都市工学専攻

菺澤 洋平

専攻科1年は一言でいうと不完全燃焼の年でした。専攻科になってからは研究にあまり身がはいらず無駄に時間を浪費する日々が長く続きました。研究結果を出し論文も投稿しましたが、4月から研究をやっていたら半分から3分の2の期間で結果を出せていたと思いますし、さらに研究を進めることもできたと思います。また、TOEICで600点を目指していましたが、結局達成できませんでした。今年は大学院入試もあるので、専攻科1年での反省を踏まえて計画性を持ち、しっかりと時間をマネジメントしながら生活していこ



TOPICS

学習到達度試験(物理)

物理の到達度試験が平成26年1月14日(火)に行われ、3年生(現4年生)全員が受験しました。5学科が共通に選択した1, 2, 3, 4, 6の5分野の全国平均の合計点は120.2点でしたが、本校5学科の平均点は178.0点で、全国平均を57.8点上回りました。到達度試験が始まって以来、本校3年生の物理の平均点は常に全国平均を上回っています。また5分野全てがA判定だった学生は37名に上り、今年の3年生の実力も全国レベルにあると言えるでしょう。これは皆さんの日頃の地道な学習活動の成果です。今後も学習を継続し、5年卒業時には大きな成果を収められることを期待しています。

TOEIC IPテストについて

平成26年1月14日(火)の一斉テストで、4年生(現5年生)と専攻科1年生(現専攻科2年生)を対象にTOEIC IPテストを実施し、他学年の希望者を含め総勢233名が受験しました。4年生全体の平均点は358.4(日本人学生のみ平均点は347.1)で、専攻科1年生の平均点は377.3でした。昨年(平成24年)度のようにはありませんでしたが、学科によっては昨年度の平均スコアを上回る成果を上げています。また、昨年度の全国高専4年生全体の平均点は342で、本校は全体で16.4ポイント、日本人学生の成績では5ポイント上回っています。

校内全面禁煙

学生の健全な環境と喫煙防止教育を推進するとともに、学生・教職員の健康および安全を守り、受動喫煙防止を徹底するために、平成26年4月1日(火)から校内全面禁煙を実施することになりました。この措置は学生・教職員のみならず、来校された保護者や業者の皆様からもご理解とご協力をいただくこととなります。

スキー合宿研修

平成26年1月15日(水)から17日(金)の2泊3日の日程で、2学年のスキー合宿研修を実施しました。上越国際スキー場(南魚沼市)を会場に、上級クラスから初心者クラスの合計15班に分かれ、スキースクールの講師から実技指導を受けました。天候にも恵まれ、楽しく充実した研修となりました。学生からは、勉強とは違った達成感を味わえた、他学科の学生との交流に手応えを感じた、仲間のサポートがありがたかった、協力の大切さを学んだ、また友達とスキーに行きたい、などの感想が寄せられました。



鈴木哲夫名誉教授の殊勲

平成25年11月3日(日)付けで政府が発表した平成25年秋の叙勲において、本校の鈴木哲夫名誉教授が瑞宝小綬章を受章しました。勲章伝達式は11月11日(月)に国立劇場にて行われました。

卒業研究発表会

平成26年1月29日(水)・30日(木)に、卒業研究発表会が本校を会場に開催されました。各学科の5年生が、4年生の後期より行ってきた各自の研究成果について口頭発表を行いました。それぞれ4年生や専攻科生も参加し、上級生や教員からは研究を深めるための示唆を得、下級生には今後の研究を行う上での刺激を与える機会となりました。



電子制御工学科



物質工学科

各種受賞者 (前年度の学年で表記)

- ・第7回全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
スピーチ部門 日本国際連合協会会長賞
第28回関東信越地区高等専門学校英語弁論大会 スピーチ部門 優勝
物質工学科5年 出雲崎文菜
- ・第28回関東信越地区高等専門学校英語弁論大会 レシテーション部門 優勝
物質工学科2年 鈴木 陽介
- ・第28回関東信越地区高等専門学校英語弁論大会 スピーチ部門 3位
電子制御工学科3年 金塚 裕也
- ・第3回新潟県化学インターハイ
最優秀高等学校(日本化学会関東支部長賞) 長岡工業高等専門学校
最優秀チーム(新潟日報社賞) ルビジウム
総合種目(NST賞) 優勝 ルビジウム 準優勝 超高専級の化学部 3位 化学名人
実験総合種目(長岡徹章賞) 準優勝 超高専級の化学部 3位 ルビジウム
筆記試験種目 優勝 ルビジウム 準優勝 化学エンハンス 3位 化学名人
上級実験種目 準優勝 超高専級の化学部 3位 ルビジウム
基本実験種目 準優勝 コミカルピーカー 3位 化学名人
(参加チームメンバー)
ルビジウム:物質工学科2年 田原 海,三上 和也,中島 優一
超高専級の化学部:物質工学科2年 伊佐 猛,佐野 友美,木花 将
化学名人:物質工学科3年 高野 駿平,木村宗ノ介,長谷川雄一
コミカルピーカー:物質工学科3年 最上 真鈴,家後 和美,丸山 彩
化学エンハンス:物質工学科3年 阿部 聖人,笹川 祥平,高野 諒真
- ・第13回日本情報オリンピック予選 敢闘賞
電子制御工学科2年 岩田 裕介
電子制御工学科2年 米山 慧
電子制御工学科2年 高橋 凌
- ・第39回全日本スポーツチャンバラ選手権大会 小太刀 二段 3位
環境都市工学科2年 三浦 崇
- ・ロボカップジュニア北信越大会 サッカー部門優勝
(全国大会:予選リーグ2位通過、決勝トーナメント1回戦敗退)
機械工学科4年 金井 雅也
電気電子システム工学科4年 村木 孟
電子制御工学科2年 藤澤 郁也
機械工学科4年 木原 心
- ・平成25年度日本化学会関東支部新潟地域研究発表会 優秀発表賞
物質工学専攻1年 加島 徳人
- ・第80回レーザ加工学会講演会 優秀ポスター賞
電子機械システム工学専攻1年 葛 将哉

高志台消息

○平成26年3月31日付け

現職名	氏名	異動内容
機械工学科教授	山田 隆一	定年退職
物質工学科教授	栗野 一志	//
環境都市工学科教授	塩野 計司	//
教育研究技術支援センター技術専門職員	伊佐 実	//
一般教育科教授	太田 昌孝	辞職(名古屋短期大学へ)
教育研究技術支援センター技術職員	大澤 拓洋	辞職(宮古市役所へ)
一般教育科嘱託教授	岩瀬 誠一	雇用期間満了退職
機械工学科准教授	倉橋 貴彦	教員交流期間満了(長岡技術科学大学へ)

○平成26年4月1日付け

異動前職名等	異動内容	氏名	異動後職名
	採用	米崎 啓和	一般教育科教授(英語)
	//	金子 健正	機械工学科助教
	//	押木 守	環境都市工学科助教
	//	桐生 拓	一般教育科助教(保健体育)
	//	込山 晃市	教育研究技術支援センター技術職員
八戸工業高等専門学校	配置換	村上 能規	物質工学科教授
東京工業高等専門学校	教員交流期間満了	占部 昌蔵	一般教育科准教授(英語)
長岡技術科学大学	教員交流期間満了	佐々木 徹	機械工学科准教授
機械工学科教授	再雇用	山田 隆一	機械工学科特任教授
物質工学科教授	//	栗野 一志	物質工学科特任教授
環境都市工学科教授	//	塩野 計司	環境都市工学科嘱託教授
教育研究技術支援センター技術専門職員	//	伊佐 実	教育研究技術支援センター技術職員